

キックオフ

- キックオフを行うとき、選手はそれぞれの味方ハーフ内にいる
- キックオフを行うとき、相手チームの選手はセンターサークルの外にいる
※守られなかった場合はキックオフのやり直し
- ボールが前方にけられて試合開始
- キックオフから直接得点できない

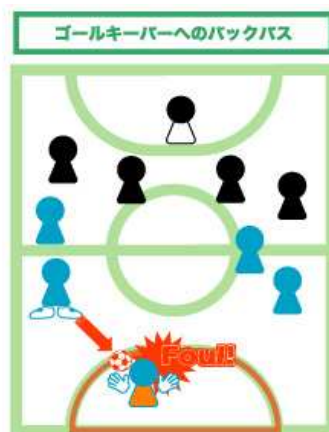
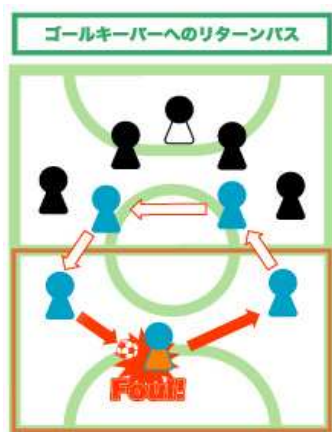


4秒ルール

- キックインは準備ができてから4秒以内に行う
- ゴールクリアランスはゴールキーパーが準備ができてから4秒以内に行う
- コーナーキックは準備ができてから4秒以内に行う
- ゴールキーパーが味方ハーフ内でボールをコントロールできるのは4秒以内
- 直接・間接フリーキックはボールを静止させて4秒以内に行う
※守られなかった場合は相手ボール（それぞれ方法は異なる）で再開

ゴールキーパーのファウル

- ゴールキーパーへのリターンパス ゴールキーパーから出された（プレーの再開を含む）ボールは味方選手を経由し、相手選手に当たる前に味方ハーフ内のゴールキーパーに戻すことはできない
- ゴールキーパーへのバックパス ゴールキーパーはフィールドプレーヤーの足での意図的なキックのパスを手で扱うことはできない
- 4秒ルール ゴールキーパーが味方ハーフ内でボールをコントロールできるのは4秒以内
※守られなかった場合は相手ボールの間接フリーキック



キックイン

ボールがタッチラインを超えた場合、相手チームのキックインとなる
また、天井にボールが当たった場合は最も近いタッチライン上からのキックインとなる

- **タッチライン上、もしくはピッチの外側（25cm以内）にボールを静止させる**
- ボールをける軸足が、**ピッチの外側かタッチラインの一部を踏んでいる状態**でボールをける
- **4秒ルール**

※守られなかった場合は相手ボールのキックイン

- **ボールはピッチ内にけりいれられる**
※守られなかった場合はキックインのやり直し
- **相手選手はボールから5m以上離れなければならない**
※守られなかった場合はイエローカードの対象となる
- **キックインから直接得点できない**



ゴールクリアランス

攻撃側のチームのボールがゴールラインを超えた場合、相手ボールのゴールクリアランスとなる

- **ゴールキーパーがペナルティエリア内からエリアの外へボールを投げる**
- **ゴールクリアランスのボールがペナルティエリアの中にある内は、どの選手もボールに触れられない**
※守られなかった場合はゴールクリアランスのやり直し

- **4秒ルール**
- **ゴールキーパーへのリターンパス**
※守られなかった場合は相手ボールの間接フリーキック

- **ゴールクリアランスから直接得点できない**

コーナーキック

守備側のチームのボールがゴールラインを超えた場合、相手ボールのコーナーキックとなる

- **コーナーアーク上にボールを静止させ、ボールをける**
※守られなかった場合はコーナーキックのやり直し

- **4秒ルール**
※守られなかった場合は相手ボールのゴールクリアランス

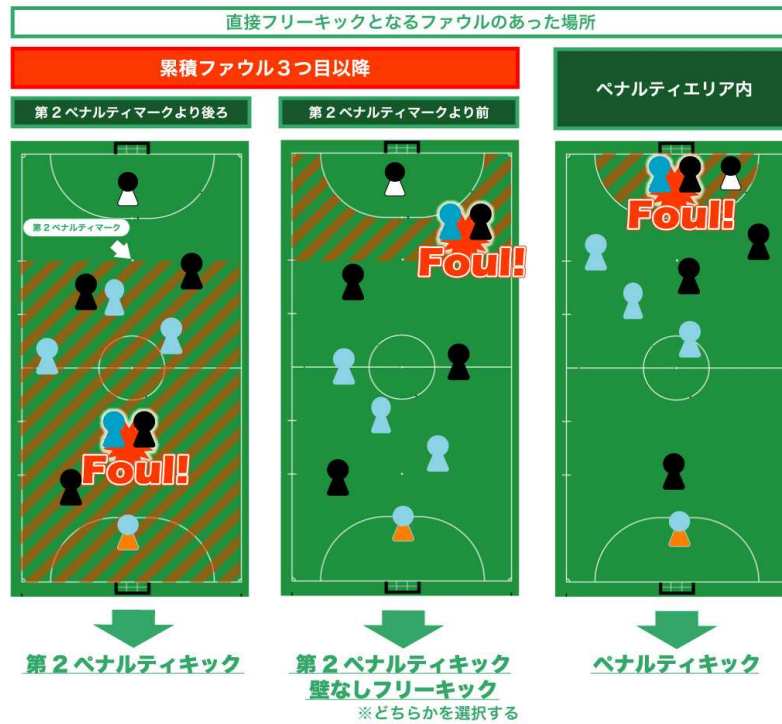
- **相手選手はボールから5m以上離れなければならない**
※守られなかった場合はイエローカードの対象となる

- **コーナーキックから直接得点できる**

直接フリーキックとなるファウル

相手選手をける、つまづかせる、とびかかる、チャージする、打つ、押す、タックルすることで相手選手のプレーを妨げたと審判が判断した場合、また相手選手をおさえた場合、ボールを手または腕で扱った場合、相手チームの直接フリーキックとなる

- これらのファウルは得点とは別にカウントされ、前後半を通じ累積する
- 前後半を通じ累積ファウル3つ目からは相手チームの**第2ペナルティキック**、もしくは**壁なしフリーキック**となる
※この累積ファウルのカウント方法はローカルルール
- ペナルティエリア内でのこれらのファウルは相手チームの**ペナルティキック**となる



- 直接フリーキック、その他のこれらのキックを行うとき、相手選手はボールから5m以上離れなければならない
- 第2ペナルティキック**、**壁なしフリーキック**、**ペナルティキック**を行うとき、キッカー、ゴールキーパー以外の選手はボールよりも後ろに下がり、ペナルティエリア外にいないなければならない
- 第2ペナルティキック**、**壁なしフリーキック**を行うとき、ゴールキーパーはボールから5m以上離れなければならない
- ペナルティキック**を行うとき、ゴールキーパーはゴールライン上にいないなければならない
- 第2ペナルティキック**、**壁なしフリーキック**を行うとき、キッカーはパスをせずゴールをねらわなければならない

※守られなかった場合は競技規則に基づき、間接フリーキック、キックのやり直しなどとなる

